

2.31 PDA岩手高校生即興型英語ディベート交流大会 2019

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年10月20日(日) 9:45-16:00

会場：岩手県立盛岡第一高等学校

参加校：3校(岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立盛岡第三高等学校、岩手県立一関第一高等学校)

参加者：生徒31名、教員11名

スタッフ：PDAスタッフ、青森県立青森高等学校教諭(PDA認定教育ジャッジ)、青森県立五戸高等学校教諭(PDA認定教育ジャッジ)、九州大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

開会式では、会場校である盛岡第一高校の水澤先生より、「即興型のディベートをするのは今回が初めてだという人もいます。緊張することがあるかもしれませんが、頑張ってください。」とエールが述べられました。次に、PDAディベート推進委員より、参加学校紹介、ルールの復習、POIの確認を行いました。その後、メモを取りながらモデルディベートを見学し、ディベートの雰囲気再確認しました。



水澤先生のご挨拶



POI(質疑応答)の練習



ルール説明



モデルディベートを見学

ミックスディベートのお題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* (大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)」でした。ミックスディベートでは、今日初めて顔を合わせた他校の生徒と一緒にチームを組み、ディベートを行います。即興型をやったことがある生徒と一度もやったことがないという生徒がいる中、お互いにルールやアイデアを共有しながらディベートが行われました。はじめは緊張した雰囲気でしたが、ディベートが始まると、彼氏・彼女の存在が勉強の邪魔になるのか、むしろよく働くのかなどについて、時には笑いがおこりながら楽しくディベートを行いました。



準備時間にアイデアを共有します



堂々とスピーチをします



POI も活発に交わされました



ディベートが終わるとお互い握手します

次はいよいよ表彰の対象となるラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「*Japan should have nuclear weapon.* (日本は核兵器を保有すべきである。)」でした。昨今の日本とアメリカの関係や核の危険性などについて多くの分析が飛び交いました。また、日本が核を持つと攻撃される危険性を説明するためにイラクとアメリカの例を出すなど、説得的なスピーチもたくさん見られました。ディベートが終わるとジャッジの先生からのコメントを、メモを取りながら聞き、次のディベートに活かそうとする姿勢が見られました。



聴衆にうったえかけるようにスピーチ



相手の話をよく聞いてすかさず POI



認定教育ジャッジよりアドバイスをもらいます



わからなかった点は質問して解消します

第1ラウンドの後は昼食時間です。別のチームと、第1ラウンドでどのような議論になったか、ジャッジの先生からどのようなコメントをもらったか、次のラウンドに向けての作戦などを共有しながらお昼ご飯を食べました。またミックスディベートの感想や、他の高校の様子なども話題に上がりました。



昼食時間の様子

昼食を終えると、続く第2ラウンドのお題は、「**Term-exam should be abolished. (定期テストを廃止するべきである。)**」でした。小テストなどで十分なのかどうかや、自分の取り組みたい勉強や活動に専念することの重要性など、身近な例を出しながら説明を行いました。現状で定期テストはそもそもなんのために存在しているのかなど、そもそも論なども分析しながら定期テストの意義について議論を行いました。



戦略的に POI を行っています



ジャッジの目をみてスピーチします

次に、ジャッジから「もう一度ディベートを見たい！」と推薦された生徒によるエキシビジョンディベートです。お題は「**Casinos in Japan will give us more benefits than harm. (カジノは日本に害よりも利益をもたらす。)**」でした。POI も活発に飛び交い、とても白熱したラウンドとなりました。経済的な利益や国際化、治安の問題や中毒性などについて意見が交わされました。「それってつまりこういうこと？」という相手の弱点をついた POI なども見られ、POI が勝敗を分けたラウンドとなりました。



POI 合戦が続きます



相手のスピーチをよく聞いて POI!

エキシビジョンディベートが終わると、エキシビジョンディベートが終わると、チェアを務めた青森県立青森高等学校の當麻先生(PDA 認定教育ジャッジ)より各ポイントについて POI がどのように影響したのかなどジャッジの解説が行われました。勝敗は、生徒たちの投票で Opposition (否定側) の勝ちとなりました。会場から健闘をたたえ、両チームへ大きな拍手が送られました。閉会式では表彰式の後、當麻先生と生徒よりコメントをいただき、PDA 岩手交流大会 2019 の幕が閉じました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM ——さん (一関第一)
LO ——さん (盛岡第一)
MG ——さん (盛岡第一)
MO ——さん (一関第一)
LOR ——さん (一関第一)
PMR ——さん (一関第一)



〈チーム賞〉

1位：一関第一 B
2位：盛岡第一 B
3位：一関第一 A



〈ベストディベータ賞〉

——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（盛岡第一）、——さん（盛岡第一）、——さん（盛岡第三）



〈POI 賞〉

——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（一関第一）、——さん（盛岡第三）



参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- ミックスディベートが交流大会を通して、即興型英語ディベートの楽しさを感じることができました。【盛岡第一】
- エキシビションのレベルが高く、とても充実した一日になったと思います。【盛岡第一】
- まず社会問題を常に多角的に見ないと語り合えないので、普段から BBC のニュースや NHK の英語ラジオを聞いて単語と共にプロセスを学びたいと思った。【盛岡第一】
- 他校の方々と試合をしてみて、とても刺激的だったし 15 分の準備時間で論を組み立てるのが難しかったです。【盛岡第一】
- エキシビションマッチの白熱した試合を見て、とてもおもしろかったし、自分もああいう風にディベートができるようにもっと練習したいなと思った。モチベーションが高まったと思う。【盛岡第一】
- もっと深い、活発的な議論をできるように、これからも学校でやっていきたいと思いました。自分がやっていない時も、ディベートを見るのが楽しかったです。【盛岡第一】
- 学校の垣根を越えてさまざまな生徒と英語を通じて交流することができた。準備型よりもスピーディーで頭の回転が求められると思った。英語力を高めてから再チャレンジしたい。【盛岡第一】
- アカデミックディベートを中心に行っていたが、パーラは即興性が試されるため、POI が飛び交っているのがおもしろいと思った。より英語力が試されるので、今後も続けていきたい。来年もおねがいます！！【盛岡第一】
- 自分の意見や論を通せる。即興で考えるのが楽しかった。【盛岡第三】
- 今まででは準備型のディベートしかやったことがなく、とても不安だった。英語力を上げなくてはいけないと思える良い機会になった。また他の学校とも交流できたので、様々な考え方にも触れあえたので良かった。【盛岡第三】
- 短い時間で論を組み立てるのがとても難しかった。アカデミックディベートよりも時間配分に気を遣わなければならないことが大変だった。【盛岡第三】
- データがないのにすごく論理的で説得力のある話ができるのだと驚きました。すごく楽しかったです。ぜひまた挑戦したいです。【盛岡第三】
- 難しかったがたのしかったです。世界に出るために必要な力が養えると思いました。是非授業でもやりたいです。【盛岡第三】
- エキシビションのレベルディベーターの人達のディベートを聞いて学べるのが沢山あって楽しかった。【盛岡第三】
- 今日初めて即興型ディベートをしてみて、準備型よりも難しい印象でしたが、準備型よりも楽しく、白熱したディベートをできてとても良かったし、楽しかった。【盛岡第三】

- 自分のディベートに対するモチベーションや考え方が変わった。これほどレベルの高いディベートを見ることが出来たのも、仲間のディベート力の高さを肌で感じられた。良かった。また自分の英語力やコミュニケーション力のレベルの低さが目立ってしまった部分もあるので、もっと努力したいなと思った。【一関第一】
- 最後のモデルディベートが楽しかったです。見ていて、POI のやり取りが具体的で聞いていて納得することばかりでした。【一関第一】
- 学校の授業では得られない経験ができた。また、他の学校とレベルの高いディベートができ、楽しかったです。【一関第一】
- ミックスやいろんな試合をすることで、ふだん全く交流しなかった他校の仲間と関われる機会を突くっていただき本当によい機会となりました！【一関第一】
- モーション自体も楽しかった。交流自体も学べるものがあった。【一関第一】
- レベルが非常に高く、奥深い議論が出来た。頭がとても回転する感じがしてとても楽しかった。【一関第一】
- 今回の大会は得られるものが大きかった。今後のディベートに活かせる知識が得られたし、友達ともたくさん話せた。【一関第一】
- 様々な人とその場で議論をするのが楽しかった。とても楽しい一日でした。【一関第一】

教員の声

- 生徒が輝いていました。苦労はするけど、やりきった時の達成感が伝わってきました。ディベートを好きになった生徒が増えたはず！【盛岡第一】
- 全くの初心者である本校の生徒も回を重ねるごとに少しずつ上達しているのが見てとれ、もっとやらせてみたいと思いました。【盛岡第三】
- 論題が毎回かわるので飽きが来ず楽しい。【一関第一】
- 即興型は生徒の英語力のみならず、その他の知識、教養も身につきます。【盛岡北】
- 身近な話題で、生徒の等身大の英語で表現できるところに加え、ジャッジの criteria が明確でリフレクションが分かりやすいです。全ての生徒がコメントしてもらえて encouraging でした。部活や授業に取り入れてみたいと思います。【福岡】
- 皆の気持ち、やる気がとても伝わってきました。自分もやりたくなってしまった。【宮古】
- Interesting topics. Enjoyed seeing students become more confident in speaking (morning to afternoon). 【ALT】
- Very informative and helpful for students as well as teachers. 【ALT】

